

# 菅野 修 (かんの おさむ)

1953年5月生まれ、岩手県出身、盛岡市在住。  
1973年4月、「夜行3」(北冬書房)にて「憂鬱デス」でデビュー。  
同年「ガロ」6月号に「星の夜の物語」を发表。以後、現在に至るまで、「ガロ」「夜行」「幻燈」「COMICぱく」「アックス」等に休筆することなく約45年間、日本マンガの最先端の表現として描き続けている。また、ポスターのデザインや独特な絵は、装幀家菊地信義による単行本のカバーイラストとしても採用されるなど、マンガ界以外にもファンは多い。

好きな作家は、つげ義春、ジャン・ジャック・ルソー、リルケ、川端康成。趣味は読書と音楽・映画鑑賞。

近年の活動としては、「こけし時代」沼田元気編集や「スペクテーター」赤田祐一編集などの雑誌にマンガを发表している。

2007年～「くだん書房」のホームページにて原画のネット販売を始め、2013年から、私家版「こだま・古玉・木霊」①～⑤では、短い文章も書いている。

2017年6月から、ローカル新聞「日刊盛岡タイムス」に自身初の4コママンガ「ヒゲおじさん」を連載中。

主な作品集に、「冬哭」「娼婦」「犬泥棒の夜」「象を見た男」「夏の空」(北冬書房)「ローカル線の午後」(青林堂)「筋子」(青林工藝舎)。エッセー集として、「ピンクの頭」(キリン書房)がある。

現在、「アックス」にマンガ「メシアの海」を連載中。

